

第二十一回市民賞

野村龍三氏ら五人が受賞

文化の日に表彰式が行われる



市政の発展に功績のあった個人や団体に贈られる「市民賞」に、十月二十四日の選考委員会（吉村雅男会長）で、五人の方が決定。文化の日に市役所で、受賞者など二十人余りが出席して表彰式が行われました。式では、市長から表彰状と記念品が贈られ、それを受けて、受賞者代表の野村龍三さんは「回りの暖かい気持ちに支えられ、今日の栄誉に輝きました。今後ともそれぞれ社会のために行動する責任と義務を感じます」と謝辞を述べました。受賞者は次の皆さんです（敬

称略）。

《社会福祉》

野村忠幸

七十一歳・白木谷



昭和三十四年から現在までの三十年間にわたり、民生児童委員として、四十年から四十三年までは上倉南部地区社会福祉協議会長として活躍。四十二年には、民生委員制度五十周年記念事業として、氏所有の土地三〇〇〇平方メートルを無償提供し、福祉梅林を設置。その収獲物は社会福祉施設にも寄付されている。また、石灰石搬出道路から上

倉地区戦没者忠魂墓まで自動車通行可能道路開設を計画し、六十年に無償で開通。現在、上倉南部地区社会福祉協議会副会長。

《社会教育》

野村龍三

八十歳・篠原

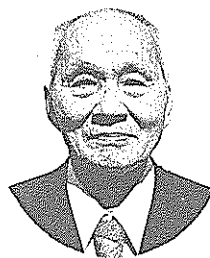


昭和六年から三十七年間に、小学校教員として子女の教育、指導に尽力し、四十三年に奈路小学校長を退職。四十五年には、初代大篠公民館長に就任。諸設備の充実や運営に絶大な功績を上げた。任期中、大篠地区体育会を発足させ、今日の隆盛の基礎を築いた。また、高齢者学級発足以来、中央高齢者学級運営委員としてその発展に尽力。現在、大篠地区老人クラブ連合会長及び篠原長寿クラブ会長。

《環境衛生》

高島清雄

八十五歳・後免町

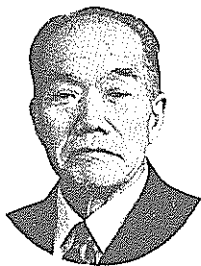


昭和四十年頃から現在まで約二十数年間にわたり、一日も休まず日後免町や後免駅周辺、市役所周辺の美化、清掃に努力、道路環境美化活動に協力した。

《保健衛生》

野島俊男

七十三歳・大埔



昭和四十二年から高知県食品衛生協会の役員として献身的な

努力を重ね、地域の食品衛生各般の整備、向上に貢献した。現在、南国市中央青果市場代表取締役。

《福祉》

久万富士

六十六歳・久枝



福祉協議会立保育所の開設にあたってリーダー格的存在となつて奔走。開設後は保母、保育所長として幼児教育に取り組み、子女の健全育成と保育所の健全運営に半生をささげた。その傍ら、昭和四十四年に南国市母子寡婦福祉連合会長に就任。母子・寡婦家庭の支えとなり、会の運営にも成果を上げている。現在、高知県青果園会連盟理事、南国市人権擁護委員として活躍している。